

プラスチックリサイクルへの取り組み ～国際標準化と分析評価技術～

国立研究開発法人産業技術総合研究所と地方独立行政法人山口県産業技術センターは、プラスチックのリサイクル技術に着目し、「令和6年度第2回産総研技術セミナーin山口」と「やまぐちブランド技術研究会材料技術分科会」の合同発表会として表題のセミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

令和7年 **1月17日** (金) 13:00-17:00

定員:50名
参加費:無料(要申込み)
※どなたでも参加できます

【会場】山口県産業技術センター 多目的ホール 宇部市あすとぴあ四丁目1番1号

主催者あいさつ【13:00～13:10】

材料技術分科会 第1部【13:10～13:55】

「企業における温室効果ガス(GHG)排出量の情報開示と算定方法」

株式会社ゼロボード ゼロボード総研 コンサルタント 深井晶央 氏

企業の温室効果ガス(GHG)排出量に関する情報開示と製品LCA・CFP算定の関係と、LCAの基本的な算定方法について紹介します。

令和6年度第2回産総研技術セミナーin山口【13:55～15:00】

「産総研の紹介」

「海洋プラスチックの国際標準化の動向」

産総研 企画本部 知財・標準化推進部 標準化推進室
標準化オフィサー 国岡正雄

海洋プラスチックごみ問題の解決の一助として、海洋生分解性プラスチック製品による代替に向けた研究開発が進められています。ここでは海洋生分解を評価する方法、要求事項等のISOによる国際標準化について紹介します。



材料技術分科会 第2部【15:10～16:30】

「トータルソリューションのご提案

-マイクロプラスチックの前処理から分析・計測まで」

株式会社島津製作所 分析計測事業部 Solutions COE
グリーンソリューションU 環境G 主任 祖父江和樹 氏
主任 坂井健朗 氏

近年、マイクロプラスチック(MPs)は環境問題の一つとして大きな注目を集めています。本講演ではMPsの前処理から分析・計測に対応できる装置を実例も用いながら紹介します。



マイクロプラスチック自動前処理装置
MAP-100 (※実機展示予定)

「廃棄物3R事業の紹介」、「同事業におけるリサイクル技術開発」

名刺交換・意見交換【16:30～17:00】

関連する研究開発の事例等をパネル展示しております。

「プラスチックリサイクルへの取り組み」セミナー

参加申込書

FAX 0836-53-5070

参加申込ウェブページ



締め切り：令和7年1月15日(水)

https://www.iti-yamaguchi.or.jp/Webentry/plastic_recycle/semina/

企業・団体名		
参加者	部署： 氏名：	FAX※： E-mail：

※FAXでお申し込みの場合はFAX番号を、メールでお申し込み場合はメールアドレスをご記入ください

山口県産業技術センター案内図



- JR 山陽本線新山口駅より約18km
・車で約25分
- JR 宇部線床波駅より約5km
・車で約10分
- 山口宇部空港より約8km
・車で約15分
- 山口自動車道 宇部 IC より約4km
・車で約8分
- 山口宇部道路宇部東 IC より約3km
・車で約4分

◆事務局・お問い合わせ

〒755-0195 山口県宇部市あすとぴあ四丁目1番1号
 (地独)山口県産業技術センター 技術支援部 (担当:松田)
 TEL:0836-53-5062 FAX:0836-53-5070
 E-mail:tech-office@iti-yamaguchi.or.jp URL:<https://www.iti-yamaguchi.or.jp/>

※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、セミナーのご案内など弊社関連の活動の範囲内でのみ利用します。

主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所、地方独立行政法人山口県産業技術センター